

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2001-316664(P2001-316664A)

【公開日】平成13年11月16日(2001.11.16)

【出願番号】特願2001-57873(P2001-57873)

【国際特許分類】

C 0 9 K 11/64 (2006.01)

C 0 9 K 11/02 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 J 11/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 11/64 C P M

C 0 9 K 11/02 Z

G 0 9 F 9/30 3 4 9 Z

H 0 1 J 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月3日(2008.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】蛍光体粉末と樹脂成分を含有する蛍光体ペーストにおいて、蛍光体粉末が、2 価のユーロピウムを賦活したアルミン酸塩蛍光体であって、該アルミン酸塩の化学量論組成式が  $MMgAl_{10}O_{17}$  であり、かつ M が少なくとも Ba、Sr および Ca の少なくとも 1 種からなり、かつ化学量論組成に対してアルミニウム元素が過剰な組成であることを特徴とするディスプレイ用蛍光体ペースト。

【請求項 2】アルミニウム元素の過剰量が化学量論組成量に対して 10 % 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載のディスプレイ用蛍光体ペースト。

【請求項 3】マグネシウム元素の量が化学量論組成量に対して 90 ~ 100 % であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のディスプレイ用蛍光体ペースト。

【請求項 4】2 価のユーロピウムの置換量が M 元素に対して 5 ~ 20 at m % であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のディスプレイ用蛍光体ペースト。

【請求項 5】樹脂成分がセルロース系樹脂またはアクリル系樹脂であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のディスプレイ用蛍光体ペースト。

【請求項 6】ディスプレイが、プラズマディスプレイパネル、電子放出素子を用いた画像形成装置あるいは蛍光表示管素子を用いた画像形成装置であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のディスプレイ用蛍光体ペースト。

【請求項 7】請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のディスプレイ用蛍光体ペーストを用いて形成されたことを特徴とするディスプレイ用部材。

【請求項 8】請求項 7 に記載のディスプレイ用部材を用いてなることを特徴とするディスプレイ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】すなわち本発明は、蛍光体粉末と樹脂成分を含有する蛍光体ペーストにおいて、蛍光体粉末が、2価のユーロピウムを賦活したアルミン酸塩蛍光体であって、該アルミン酸塩の化学量論組成式が $M M g A l_{10} O_{17}$ であり、かつMが少なくともBa、SrおよびCaの少なくとも1種からなり、かつ化学量論組成に対してアルミニウム元素が過剰な組成であることを特徴とするディスプレイ用蛍光体ペーストである。